

「誰もが住みたい小谷村」を目指して

第1回小谷村景観づくり住民懇談会

令和元年（2019年）5月22日

小谷村

本日の内容

1. 景観保全・景観づくりについて
2. 景観計画について
3. アンケート結果
4. 意見交換
 - テーマ：
小谷村の大切にしたい景観・変えたい景観

1. 景観保全・景観づくりについて

小谷村の景観



小谷村の景観



小谷村の景観



景観づくり

小谷村が持つ美しい景観を財産として捉え、
これを保全するとともに
暮らしやすさと発展のバランスが取れた村づくりを実現し、
人と自然が共生する美しい郷土を次世代に継承しましょう。

景観づくり

「主要な観光地及び都道府県における景観計画の策定について（H28.9.26付国土交通省通知）」で、

「明日の日本を支える観光ビジョンにより、景観の優れた観光資産の保全・活用による観光地の魅力向上を図るべく、2020年を目途に、主要な観光地で景観計画を策定すること」として、小谷村が示されています。

景観づくり

2020年度を目標に
小谷村の景観に合った

「景観計画」

「景観条例」

を策定し、景観保全・景観づくりを進めましょう。

2. 景観計画について

小谷村における景観づくりの計画である「小谷村景観計画」（仮称）が今なぜ必要なのか、そもそも景観とは何なのかを考えます。

そもそも「景観」とは？

「見る人」と「見る対象」から成り立つ「景観」

- 「景」 = 見る対象 ⇔ 「観」 = 見る人
 - 物理的なものを「人が見る」ことによって景観として成立する。

「良い景観」 = 「良好と感じる眺め」

- 周囲と調和していないものは景観を壊す。
 - 物理的な眺めと見る側の相互関係で成り立っている。

自然と人の営みによってつくられる

- 地形や自然、歴史や文化、産業活動、暮らしなどの結果。
 - 地域の全てが関わってくる。

「景観」のとらえ方



遠景（約3,000mより先）——・ 山と空が一体となっている

中景（3,000mくらいまで）

- 木や建物の色彩の違いが分かる。
- どのような要素が含まれているか判別できる。

近景（500mくらいまで）

- 建物外壁の素材が分かる。
- 木の茂り具合が分かる。

「景観」のとらえ方



外沢トンネル北口付近

景観づくりの必要性

景観づくりの意義と魅力

- 身の回りに心地よい空間をつくる
- 地域の個性を育む
- 地域の課題改善につながる
- 充実感ややりがいがある
- 地域と暮らしに愛着と誇りが持てる

その結果 

- ✓ 住む人の満足度が高まる
- ✓ 訪れた人にも魅力的な地域となる

景観づくりの必要性

取り巻く状況

■ 景観法の成立（平成16年）

- 地域づくりの「量の確保」から「質の確保」への転換
- 地域が独自にルールを定められるようになった

■ 急速な人口減少による地域コミュニティの衰退

■ 訪日観光客の増加

- 2018年は3,000万人が日本に訪れた
- ショッピングなどの「モノ消費」から滞在・体験の「コト消費」へ
⇒ 「日本らしさ」への憧れ

長野県内の景観行政団体

北信	長野市	須坂市	飯山市	千曲市
	小布施町	山ノ内町	<u>高山村</u>	
東信	上田市	佐久市	小諸市	
中信	松本市	安曇野市		
南信	飯田市	諏訪市	伊那市	駒ヶ根市
	茅野市	下諏訪町	箕輪町	飯島町
	<u>南箕輪村</u>	<u>宮田村</u>	高森町	

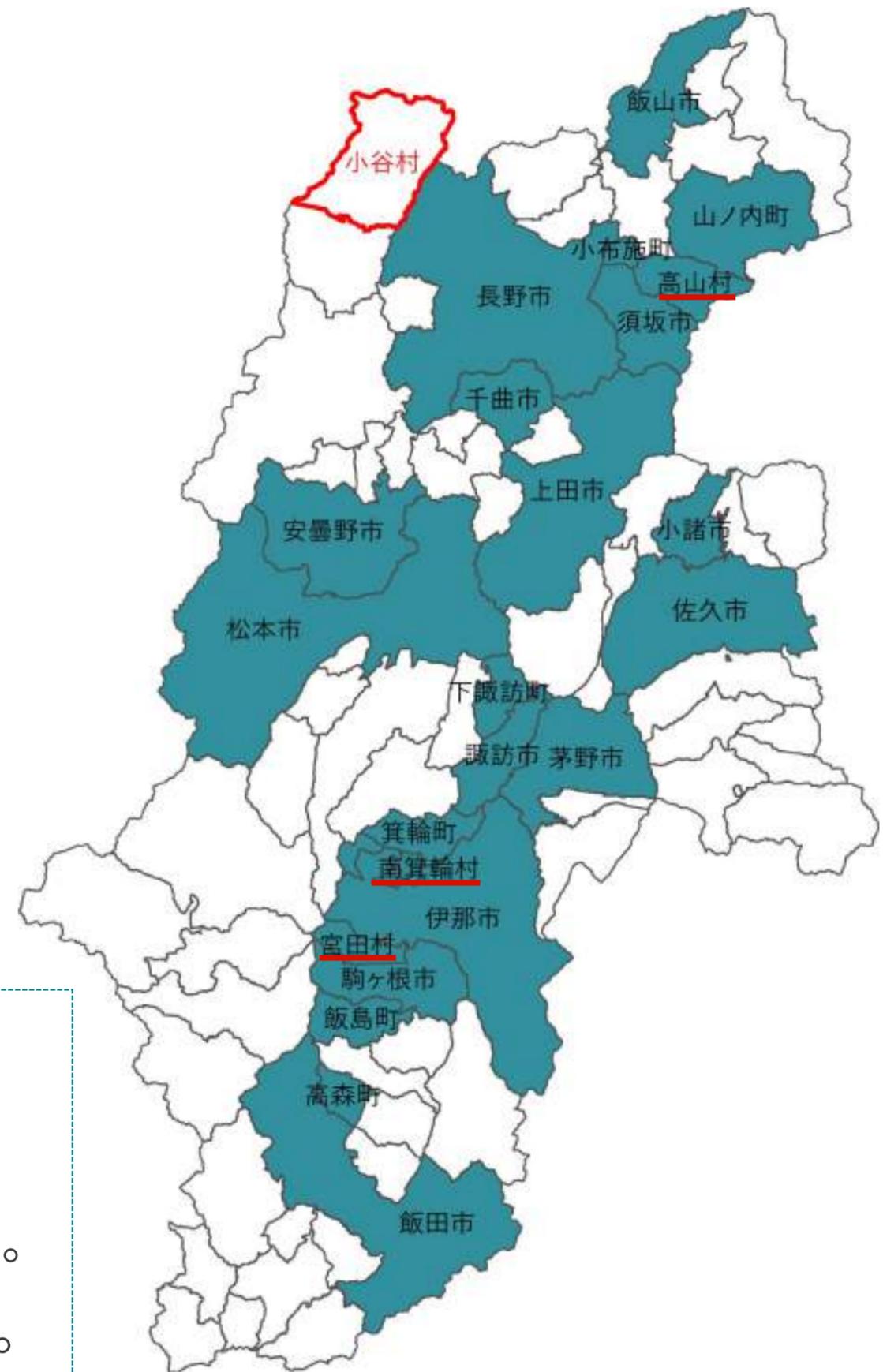
以上、23市町村

※平成31年（2019年）3月時点

下線は村

景観行政団体とは？

- 景観行政を実施する市町村。
 - ◆ 景観行政団体でない場合は、県が景観行政を実施する。
- 県知事と協議し、同意を得て景観行政団体となる。



景観計画の役割

良好な景観づくりの基本方針を示す

- 将来像と方針を示し、地域全体として景観づくりに取り組むための共通認識の醸成をはかる。

良好な景観づくりのためのルールの提示

- 地域の実情に合わせて景観づくりの具体的な内容を選択し、示す。

景観づくり関連施策の体系化

- 景観行政に関する施策を体系化し、継続的な運用方法を示す。

景観計画で定める内容

定める事項	内 容	景観法との関係
①景観計画の区域	<ul style="list-style-type: none"> ●景観計画を適用する区域 →原則は小谷村全域 	必須事項
②良好な景観の形成に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> ●目指すべき良好な景観の姿 ●基本目標、基本方針 	(努力事項)
③良好な景観の形成に関する方針	<ul style="list-style-type: none"> ●届出対象行為 ●景観保全・育成基準 	必須事項
④景観重要建造物または景観重要樹木の指定の方針	<ul style="list-style-type: none"> ●良好な景観の形成に重要な建造物、樹木の指定方針 	指定対象がある場合は必須
⑤その他良好な景観の形成に必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> ●景観重要公共施設の整備 ●屋外広告物に関する行為の制限 	—

住民懇談会で検討いただきたいこと

良好な景観づくりの方向性と進め方

- 小谷村の景観をどうしていくか？
 - 小谷村の景観の大切にしたいところ、変えたいところ
 - 小谷村はどのような景観を目指すべきか？
- 目指す景観づくりのために何をすべきか？
- 継続的な取組のために何が必要か？

参考：景観計画構成（案）

- 第1章 計画のあらまし
 - 背景と必要性
 - 役割分担 など
- 第2章 小谷村の景観特性
 - 代表的な景観資源
 - 地形的特徴
 - 景観資源の分布 など
- 第3章 景観計画の区域
 - 景観計画区域
 - 地域区分（ゾーン区分）
- 第4章 良好な景観の保全・育成に関する方針
 - 基本理念・基本方針
 - 地域区分ごとの方針
 - 景観重点地区 など
- 第5章 行為の制限に関する事項
 - 届出対象行為
 - 景観保全・育成基準（地区別など）
- 第6章 景観重要建造物、景観重要樹木の指定方針
- 第7章 良好な景観の保全・育成のために必要な事項
 - 景観重要公共施設の整備
 - 屋外広告物に関する行為の制限
- 第8章 景観づくりの推進に向けて
 - 景観保全・育成に取り組むための体制
 - 協働による景観育成の推進 など

※下線部は景観法上の必須事項を示す。

景観づくりを考える前に、
現在の小谷村にはどのような景観の
特徴があるのか、見てみます。

小谷村全体



小蓮華山

白馬大池

雨飾山

鎌池

柵池自然園

浦川

姫川

北小谷駅

中谷川

中土駅

土谷川

小谷村役場

南小谷駅

柵池高原スキー場

千国駅

白馬大池駅

Google Earth

小谷村の景観軸

南北方向

- 河川景観軸：姫川
- 道路景観軸：国道148号、塩の道
- 鉄道景観軸：JR大糸線

東西方向

- 河川景観軸：中谷川、土谷川
- 道路景観軸：県道114号川尻小谷糸魚川線、
県道330号奉納中土停車場線

小谷村の景観構成要素

■ 自然

- 山岳・高原（北アルプス、東山、前山）
- 川・湖沼（河川、湖沼）
- 農地
- 森林・樹木
- 遊歩道

■ 眺望

- 頂上等からの眺望
- 沿道・車窓からの眺望
- 集落からの眺望
- スキー場からの眺望

■ 暮らし

- 集落
- 商工業
- 公園
- 交通
- 災害と復興

■ 歴史・文化

- 遺跡、社寺
- 歴史的建造物
- 街道・古道
- 伝統行事

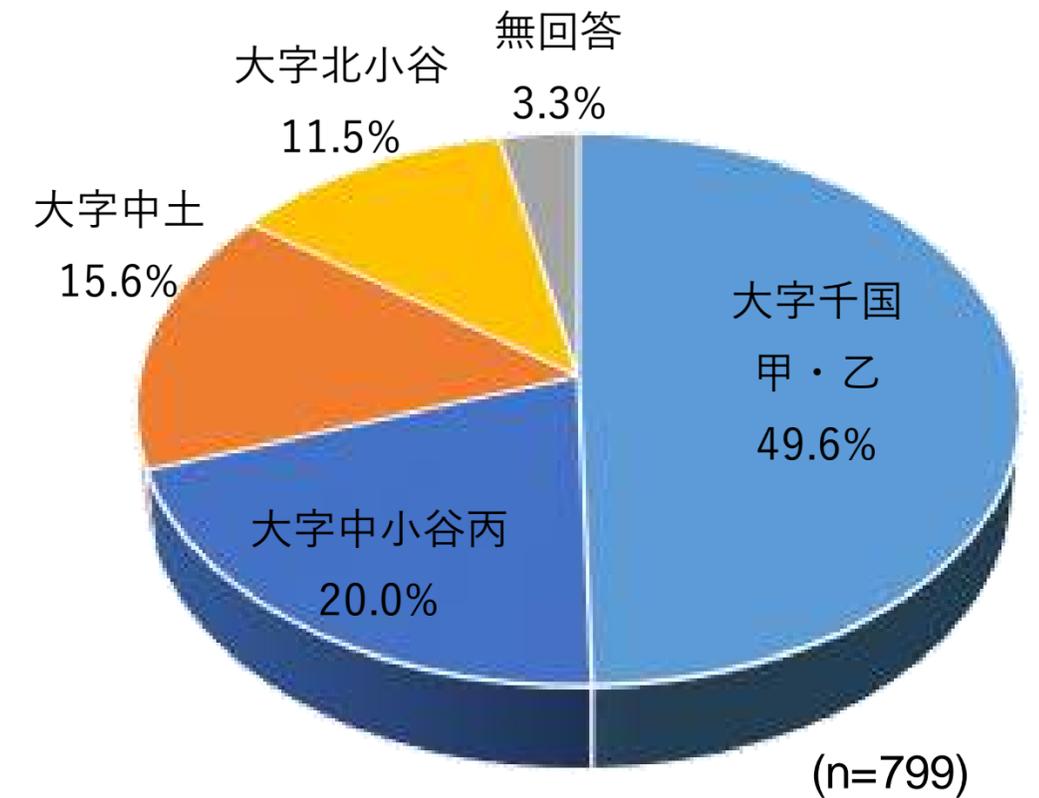
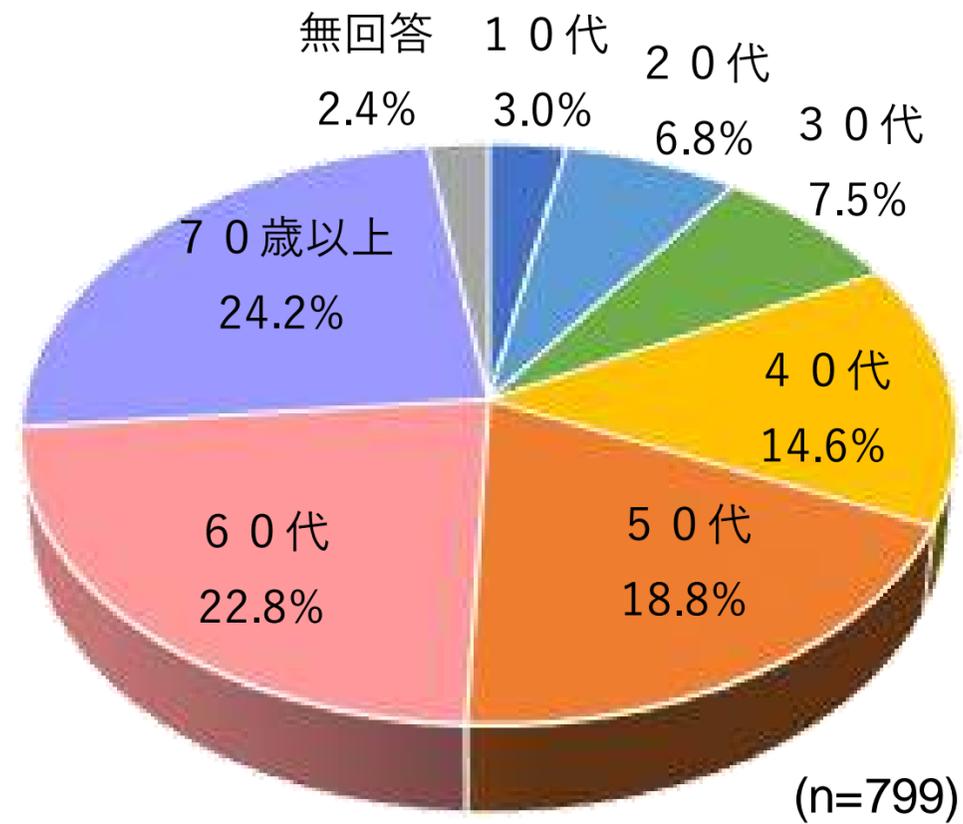
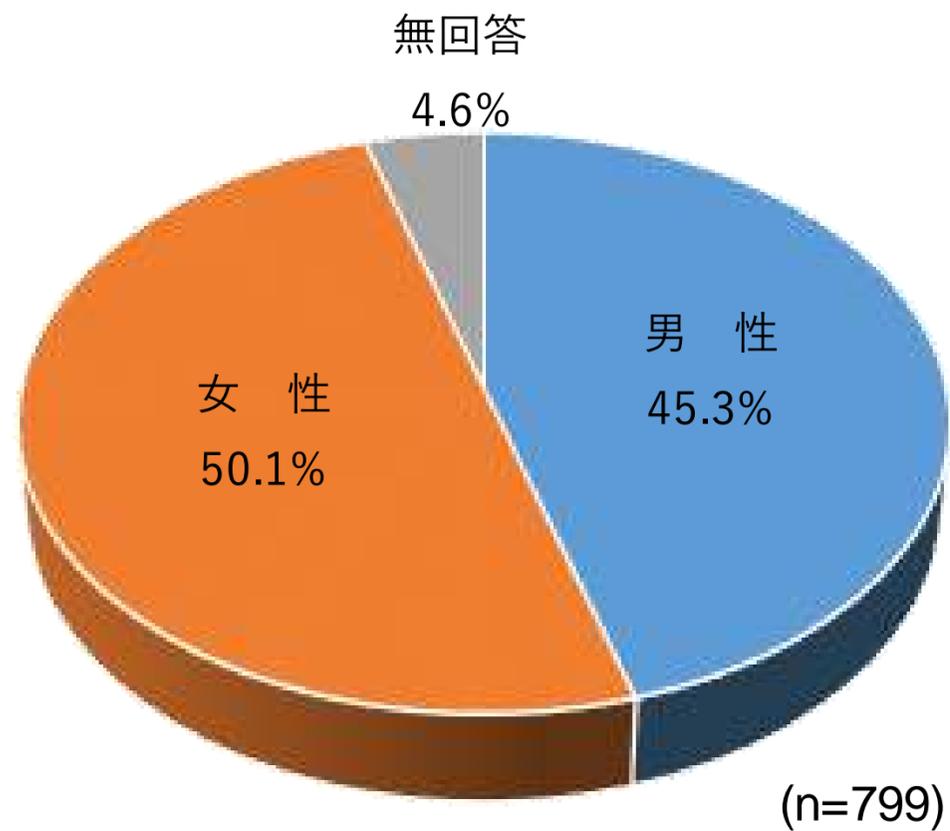
3. アンケート結果

昨年（2018年）12月～今年1月に実施した、「景観に関するアンケート」の結果をご紹介します。

アンケート回答者属性

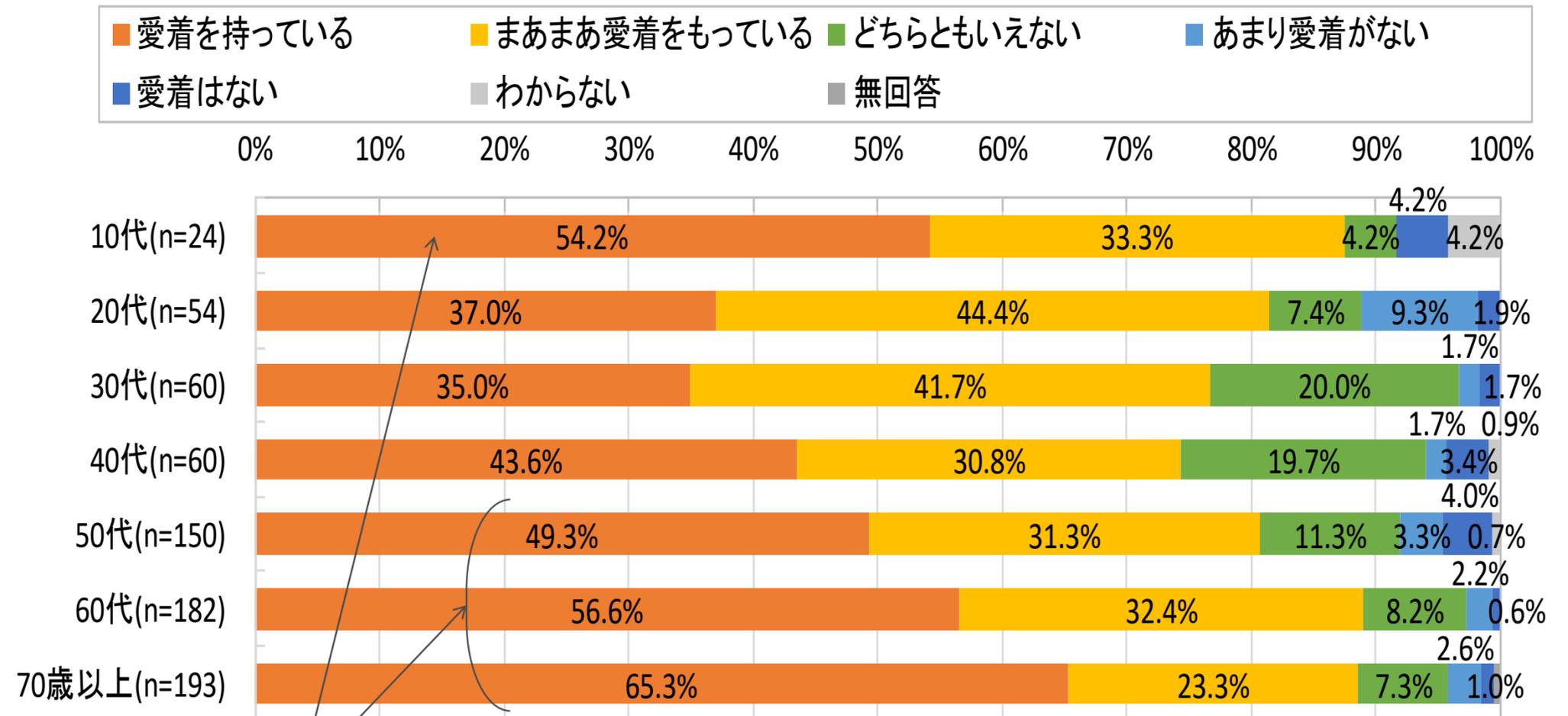
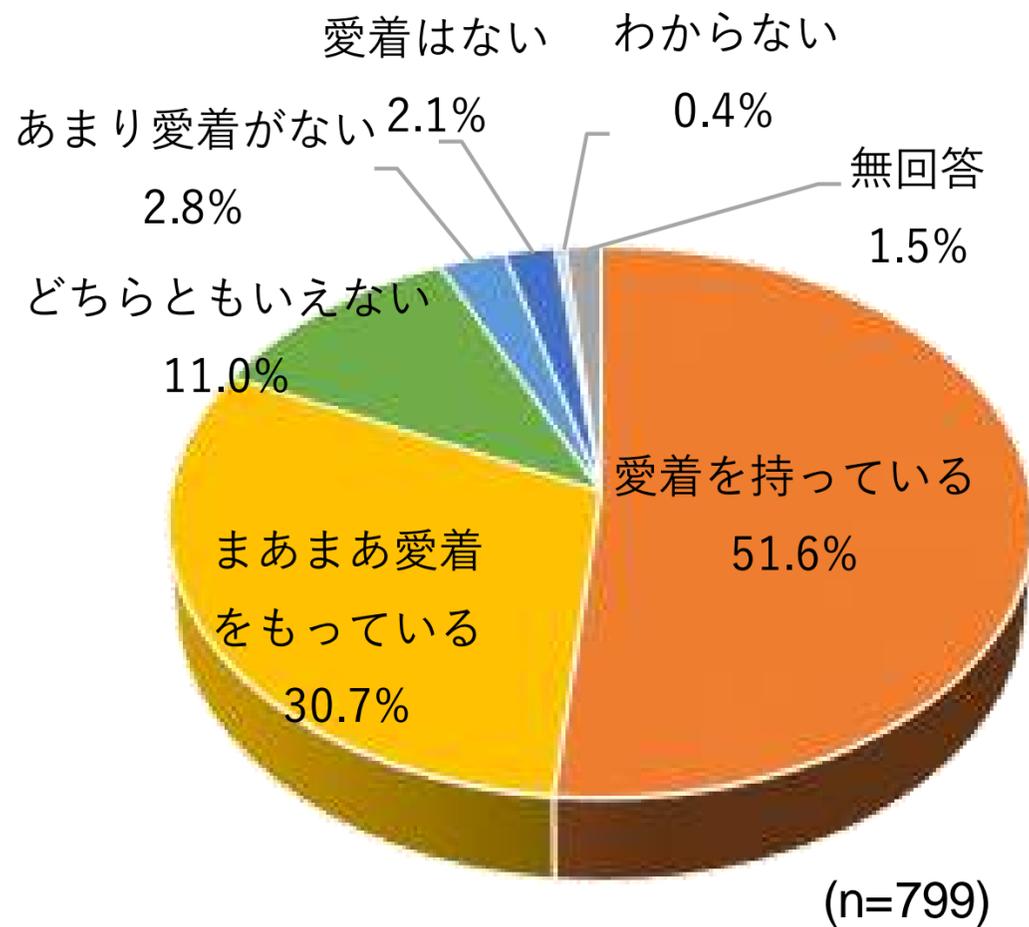
■ 配布数及び回答数

- 配布数：2,000通
- 対象者：満16歳以上の村在住者
- 回答数：799通



設問：小谷村への愛着度

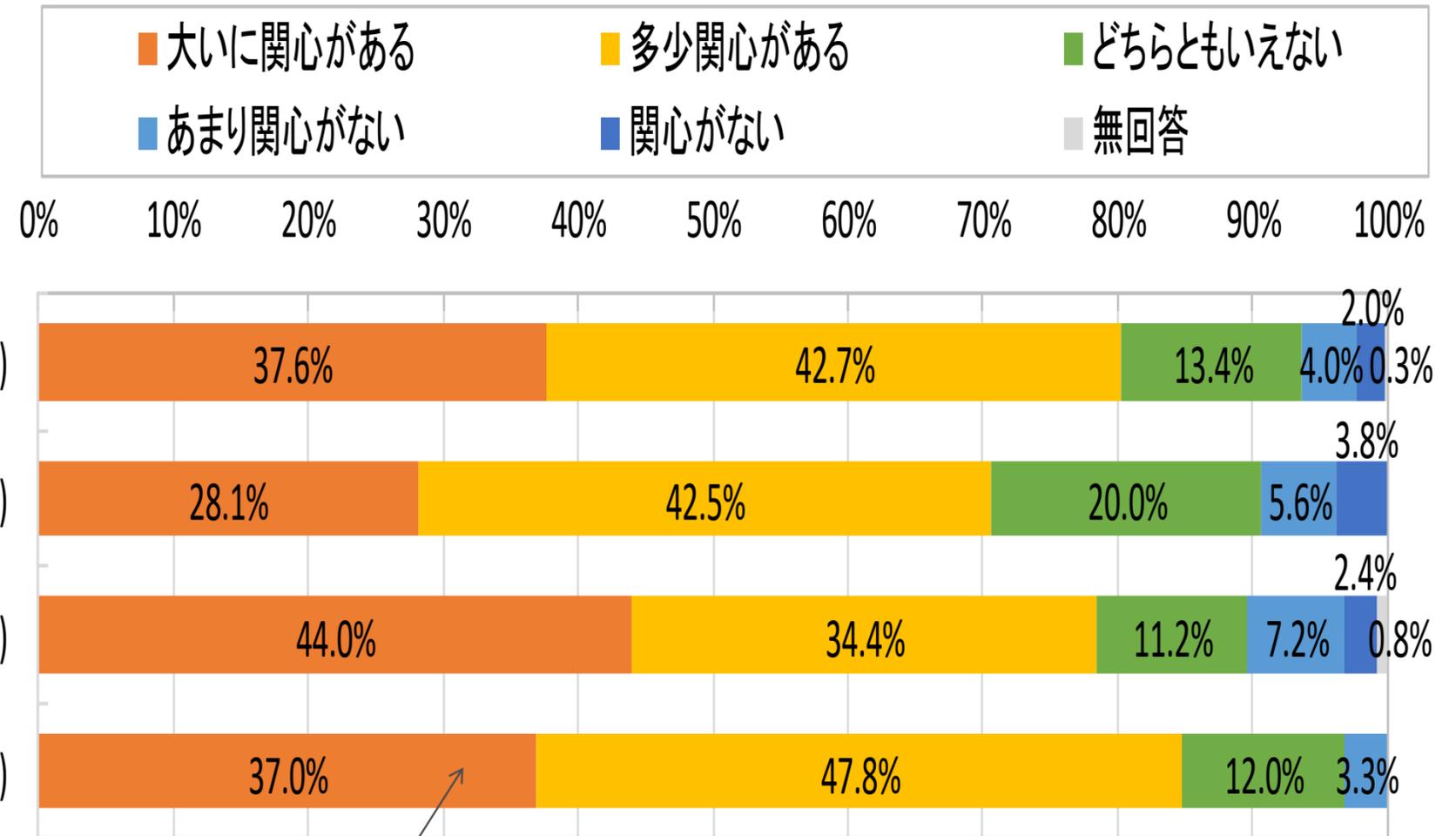
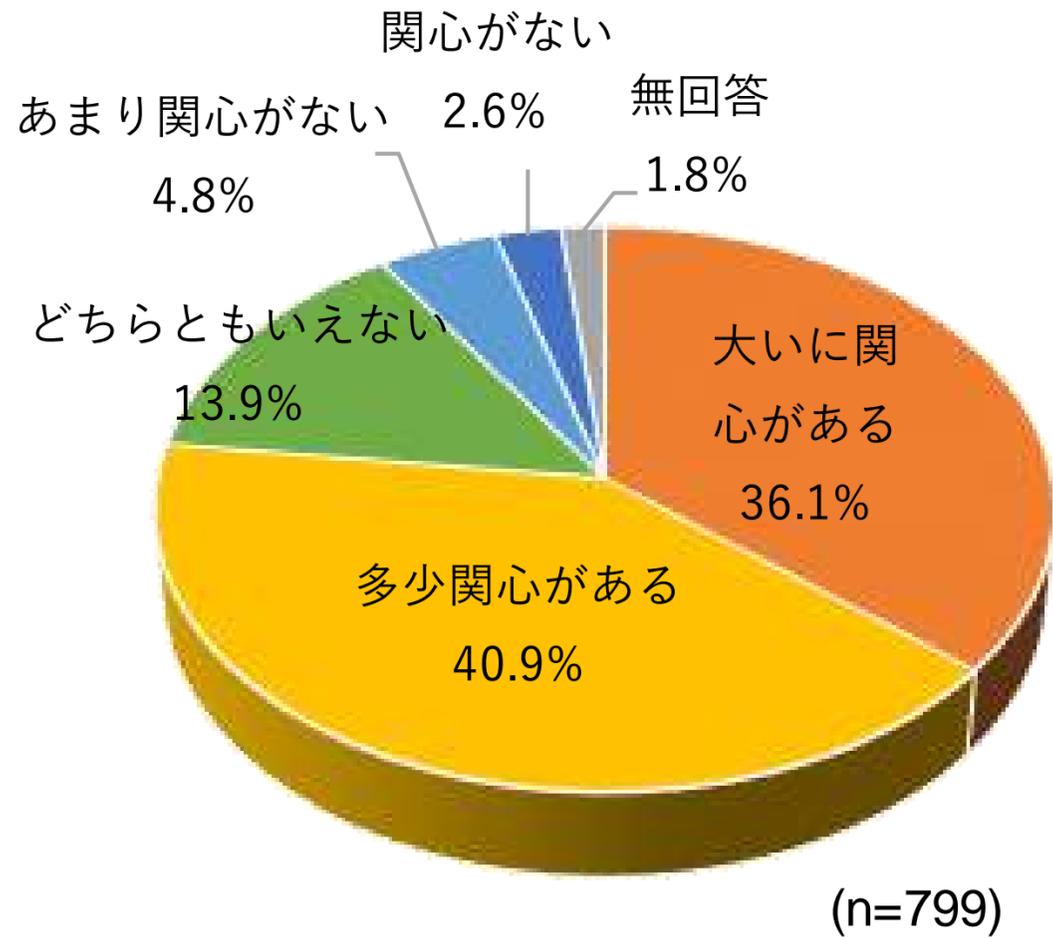
- 回答者の約82%が小谷村に愛着を持っている。



10代と50代以上で愛着度が比較的高い。

設問：景観への関心

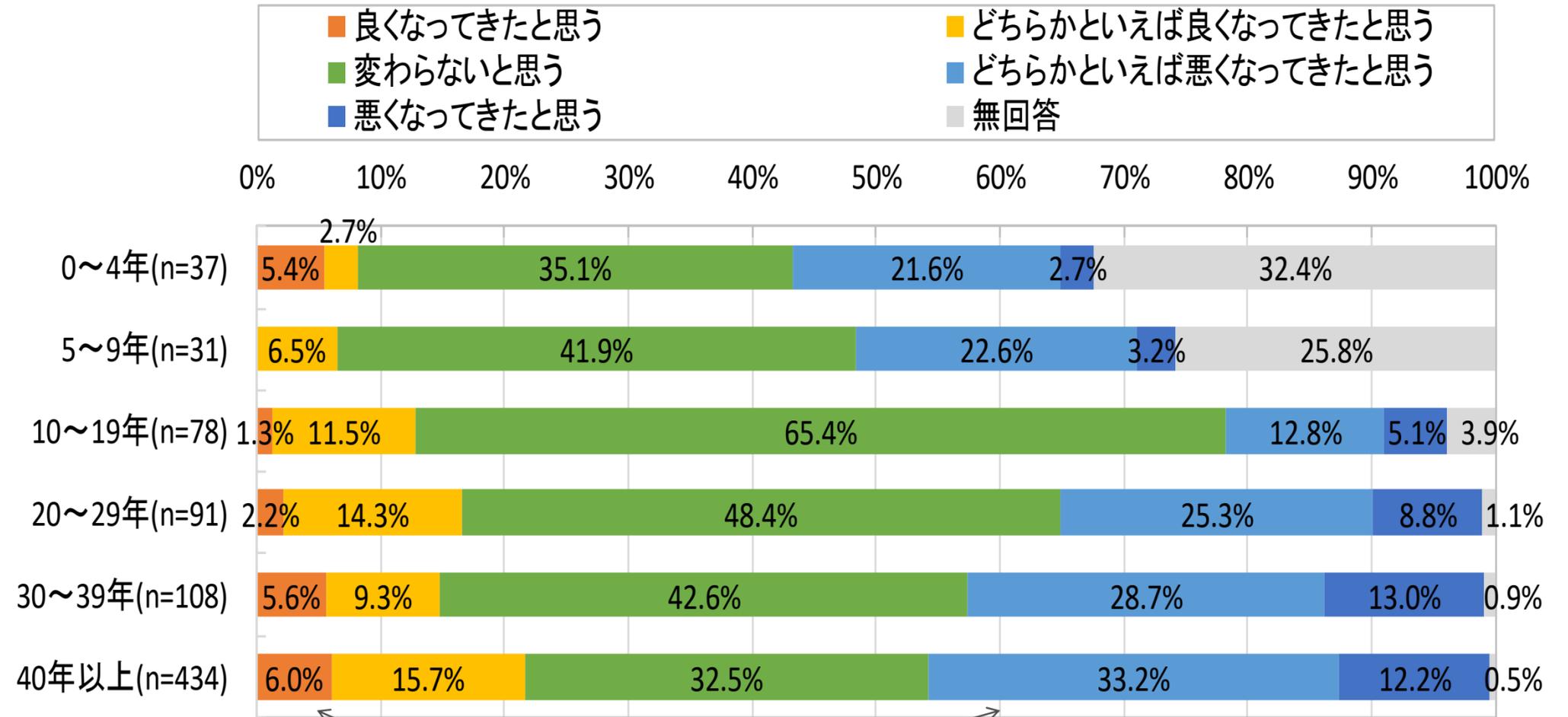
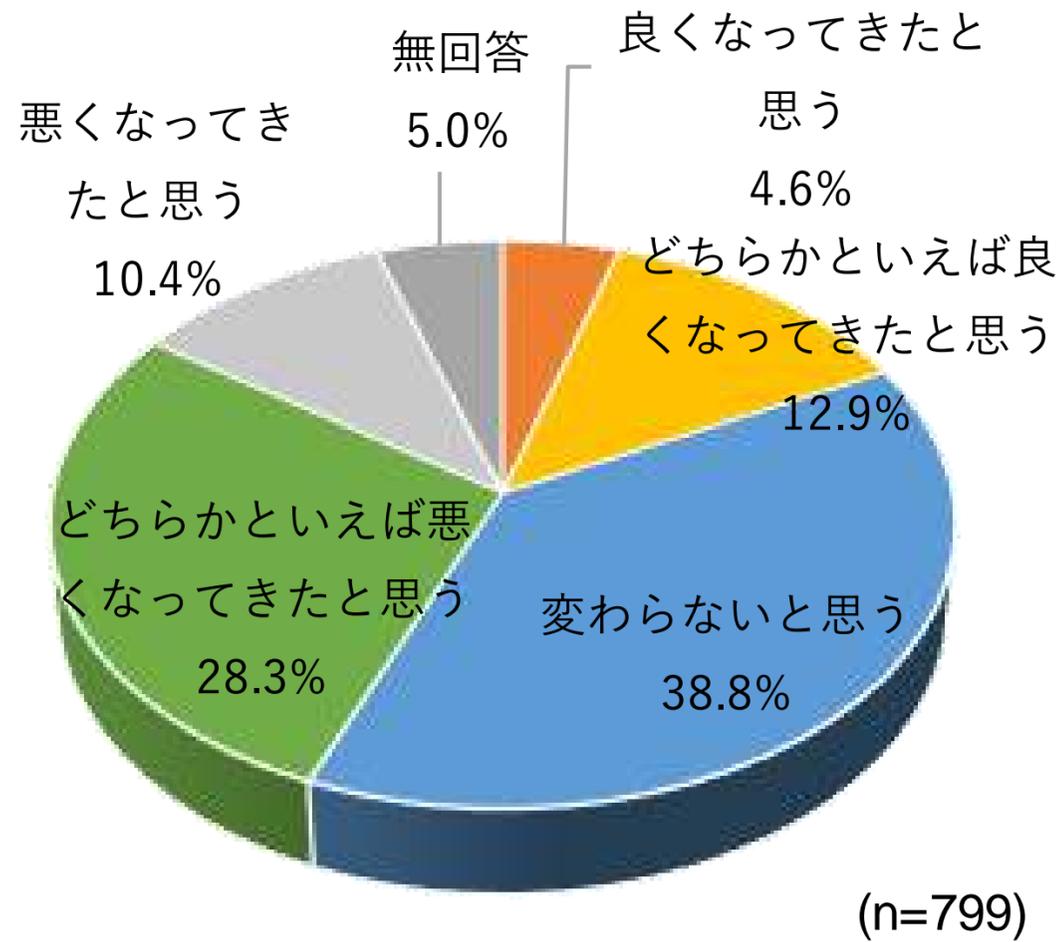
- 回答者の約77%が「関心がある」と回答。



北小谷で「大いに関心がある」「多少関心がある」の合計が最も高い。

設問：景観の変化に対する認識

- 回答者の約39%は変わらないと考えている。



「良くなってきた」「悪くなってきた」は年代が高いほど高かった

設問：小谷村の大切にしたい景観・自慢したい景観

- 地図上に回答いただいた地名等のうち、出現頻度が上位50位までを図化した結果は下記のとおり。



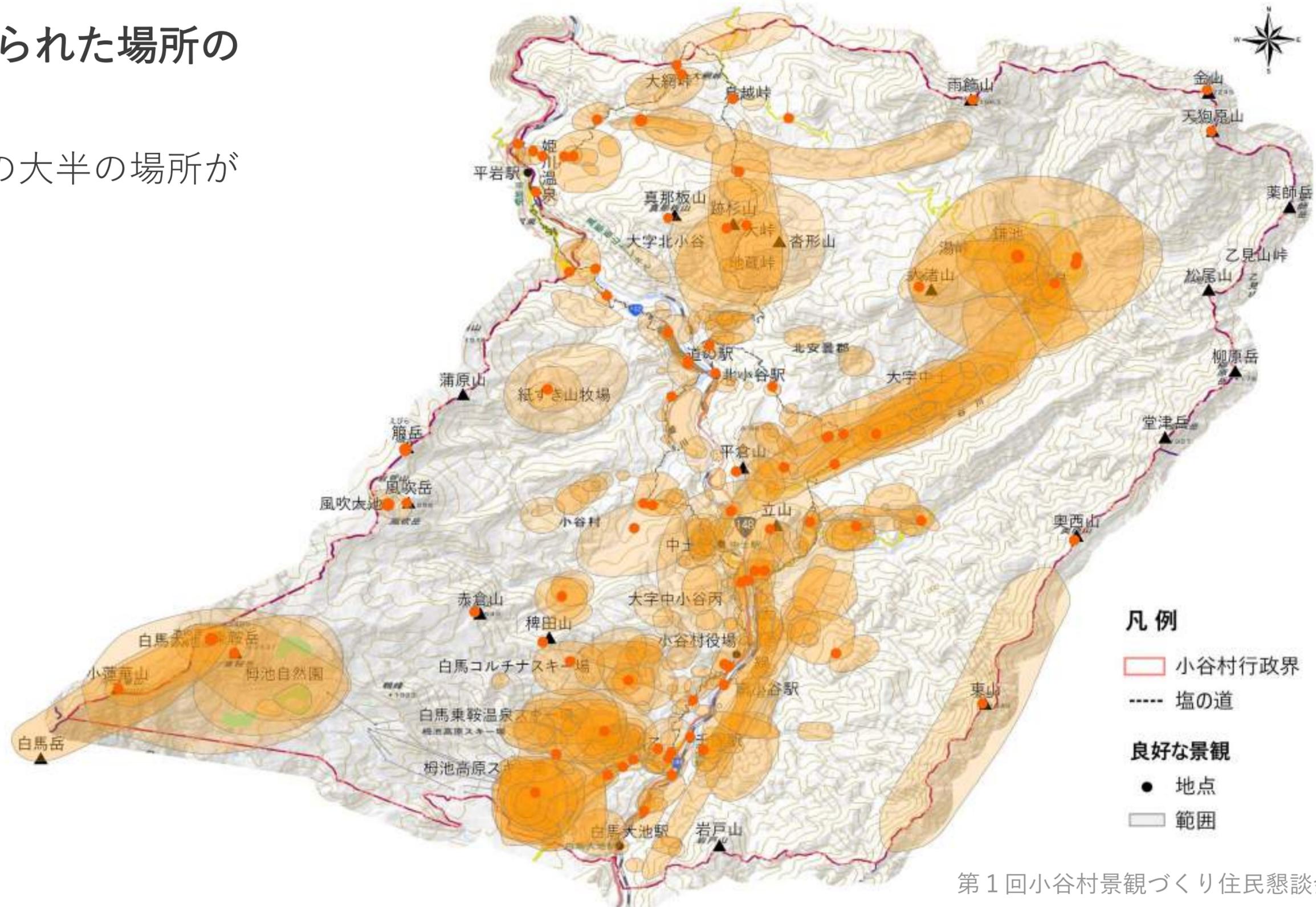
景観構成要素別の上位3位

区分	地名等	件数
山岳・高原	梅池自然園	33
	紙すき山牧場	32
	立山	28
河川・湖沼	鎌池	81
	白馬大池	18
	姫川	17
集落	大網	58
	千国	46
	曾田	45
交通	塩の道	43
	梅池パノラマ橋	28
	金谷橋	22

設問：小谷村の大切にしたい景観・自慢したい景観

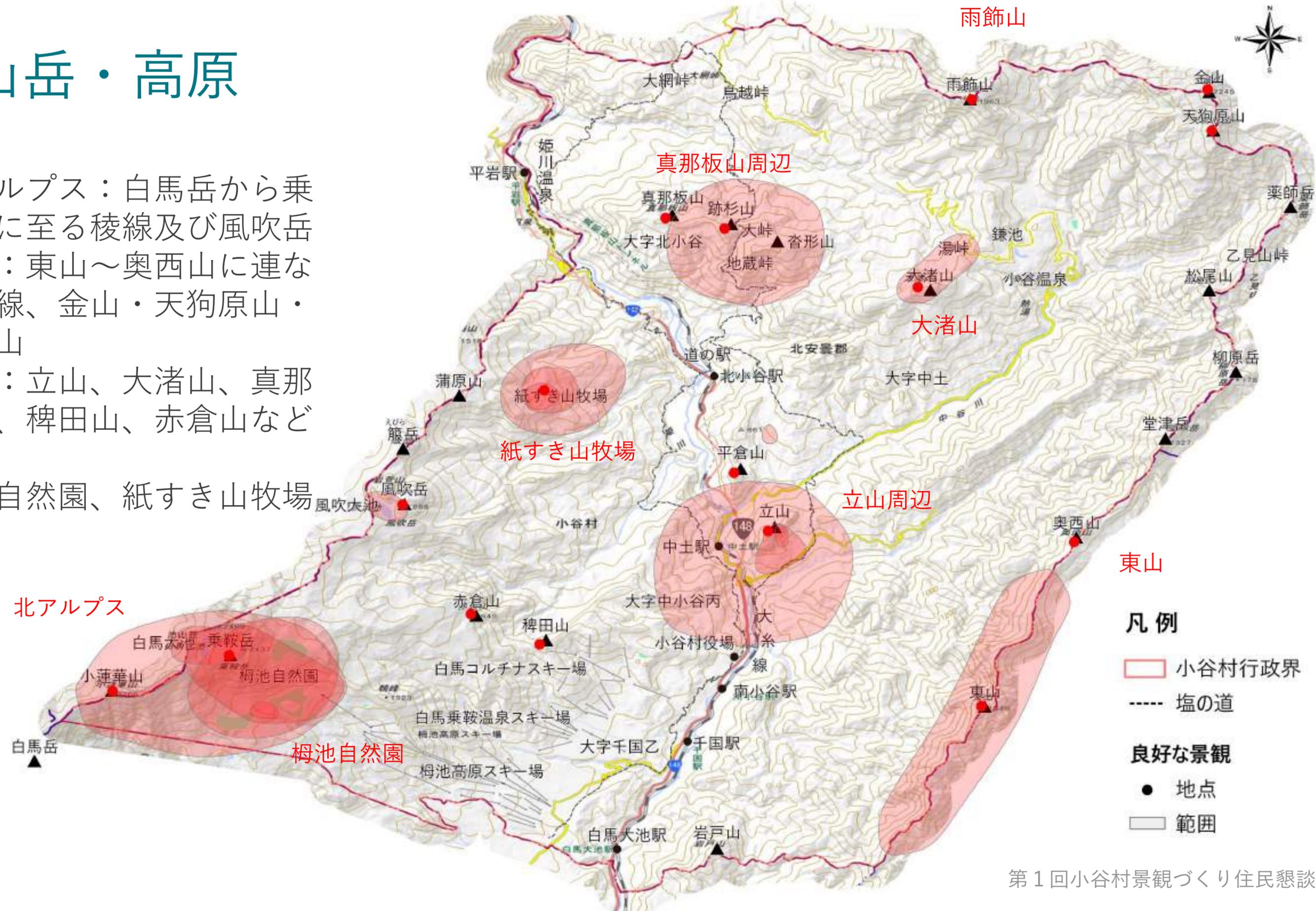
回答として挙げられた場所の 集約結果

- 回答で村内の大半の場所が寄せられた。



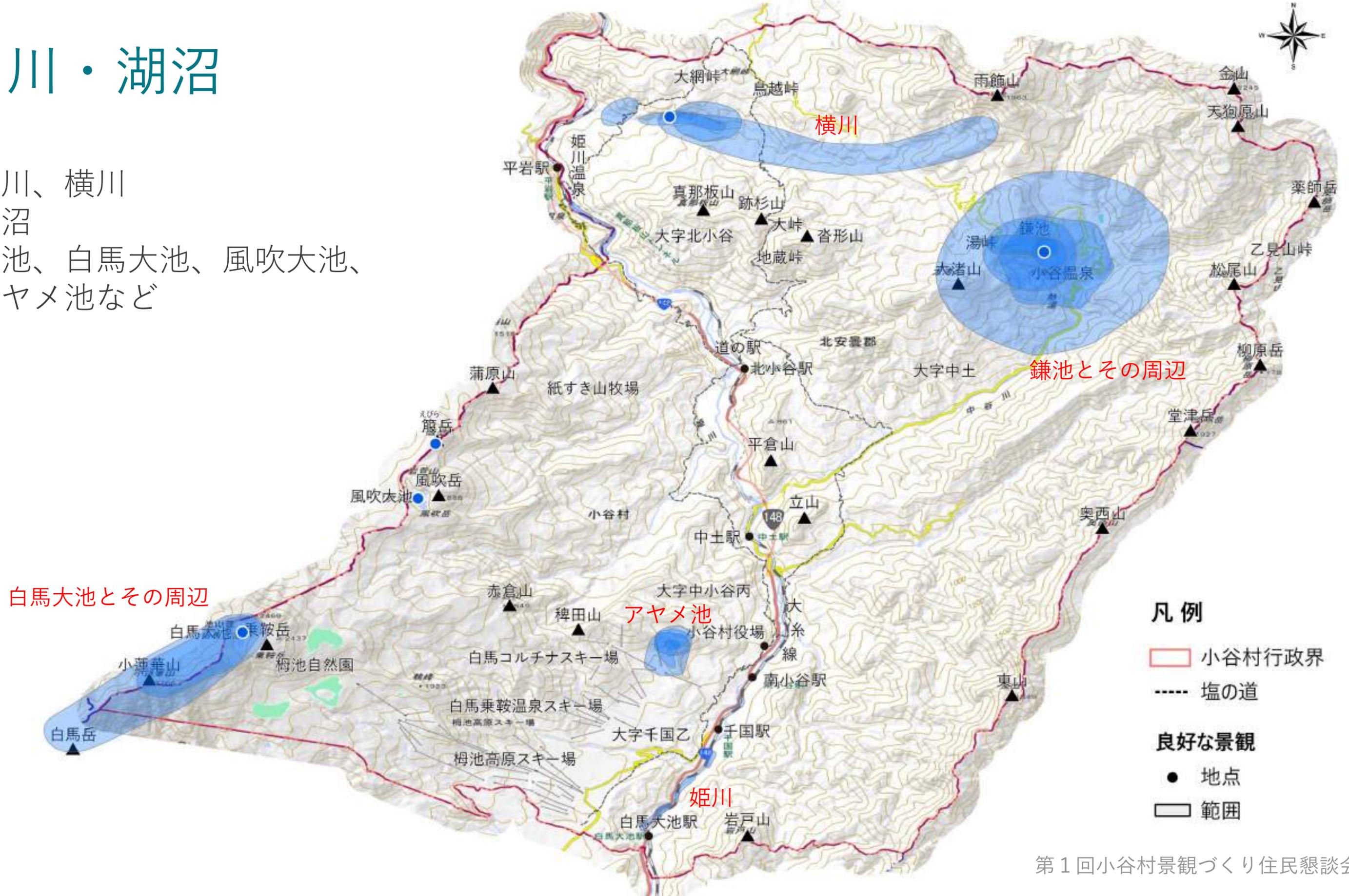
1 山岳・高原

- 山岳
北アルプス：白馬岳から乗鞍岳に至る稜線及び風吹岳
東山：東山～奥西山に連なる稜線、金山・天狗原山・雨飾山
里山：立山、大渚山、真那板山、稗田山、赤倉山など
- 高原
拇池自然園、紙すき山牧場など



2 川・湖沼

- 川
姫川、横川
- 湖沼
鎌池、白馬大池、風吹大池、アヤマ池など



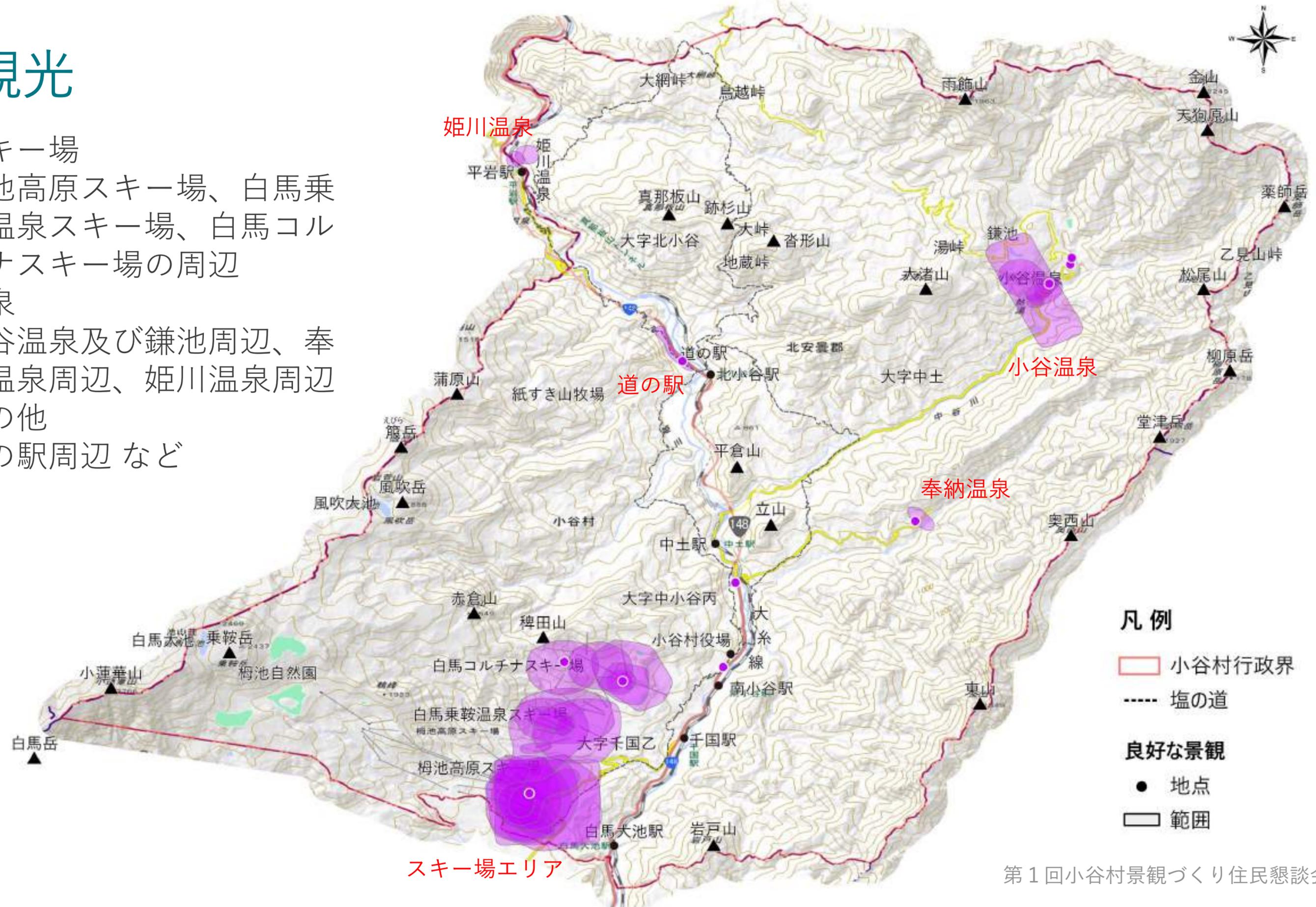
3 交通

- 道路
国道148号沿道、塩の道
- 橋
柵池パノラマ橋、国界橋、
金谷橋 など



5 観光

- スキー場
 杵池高原スキー場、白馬乗鞍温泉スキー場、白馬コルチナススキー場の周辺
- 温泉
 小谷温泉及び鎌池周辺、奉納温泉周辺、姫川温泉周辺
- その他
 道の駅周辺 など



6 歴史文化

- 歴史文化
塩の道沿道に石造文化財が分布している



7 公共施設・災害復興

- 公共施設
小谷小学校周辺
- 災害復興
稗田山、来馬河原、中谷郷
周辺など

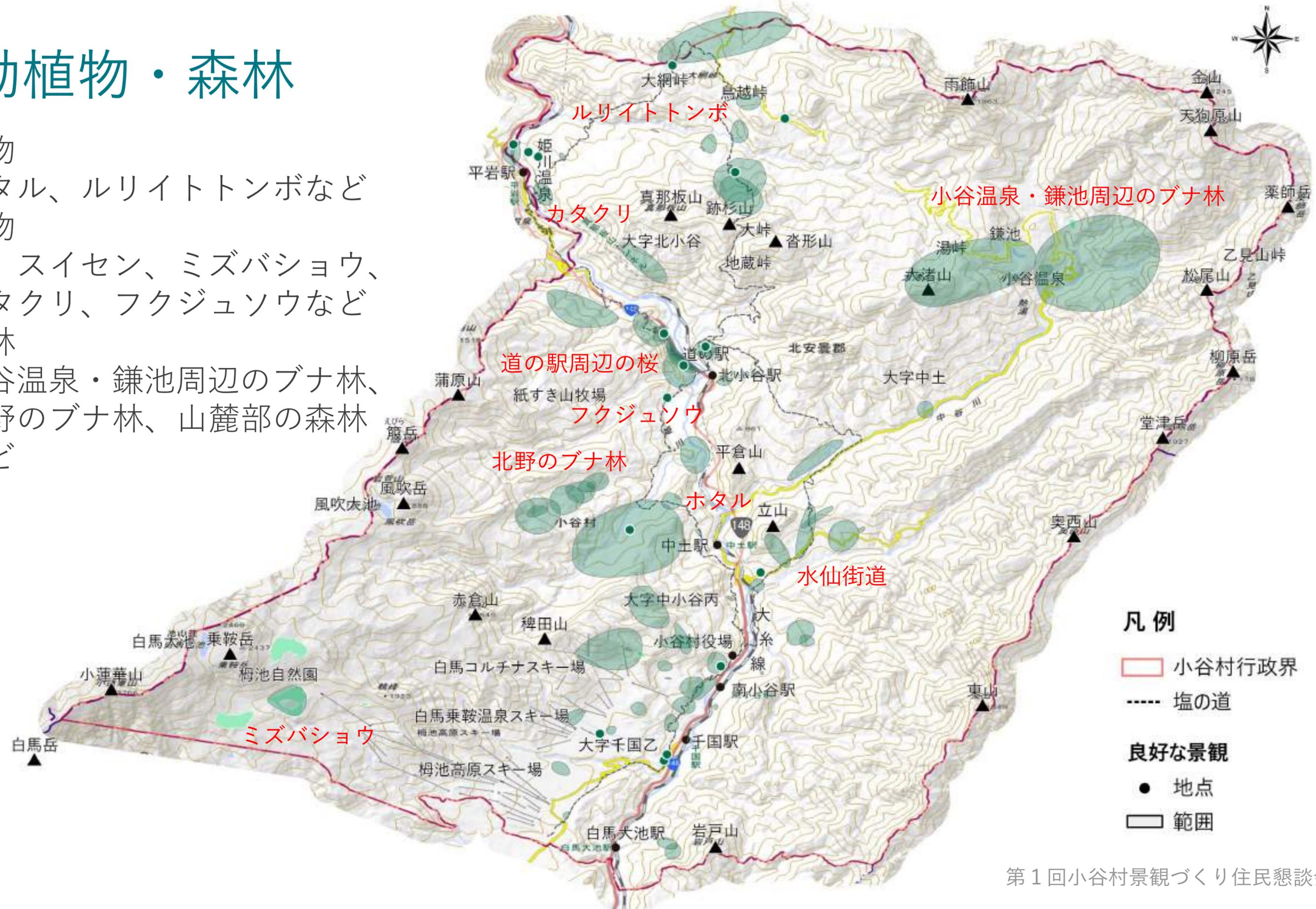


凡例

- 小谷村行政界
- 塩の道
- 良好な景観**
 - 地点
 - 範囲
- 災害復興
- 公共施設

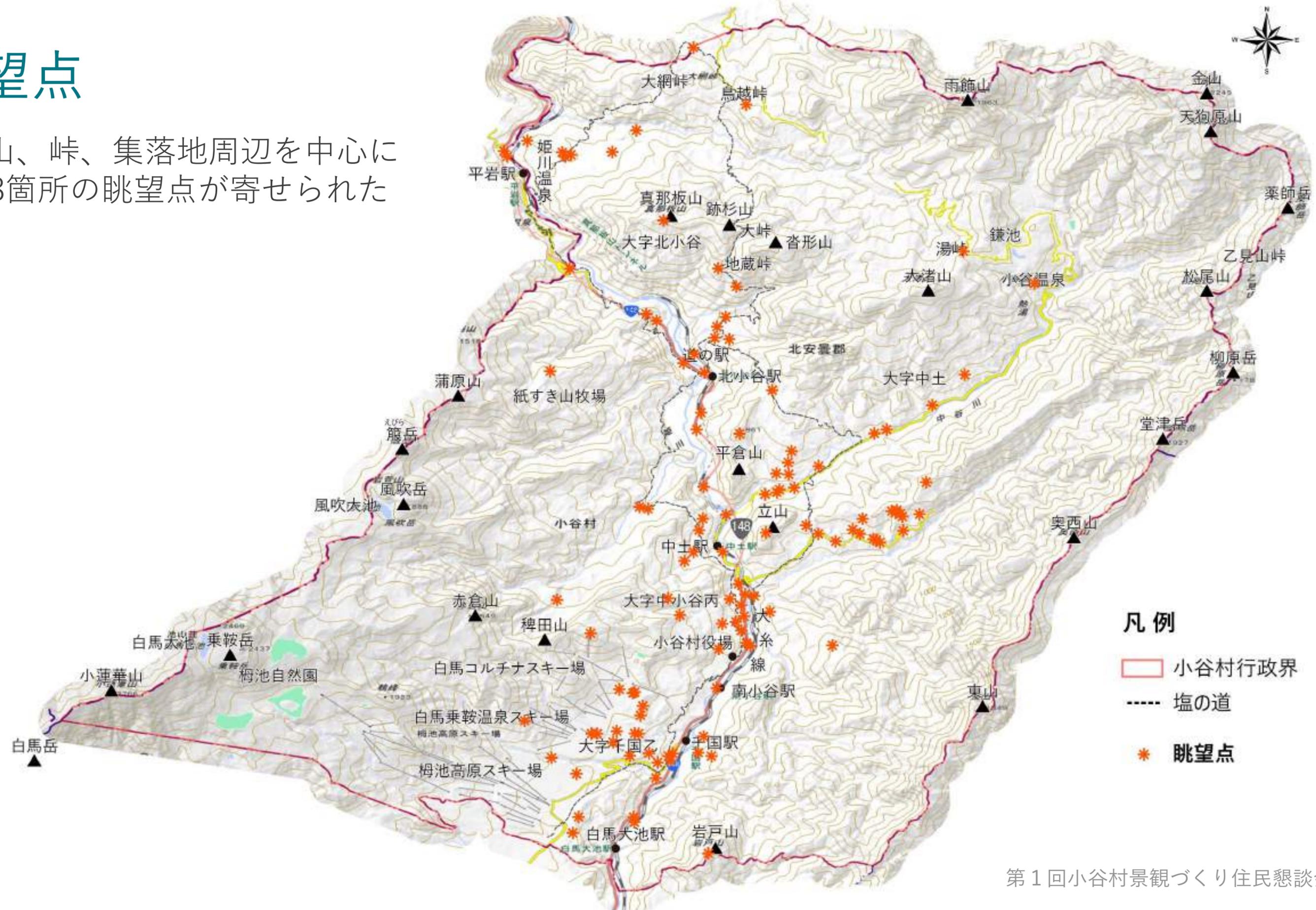
8 動植物・森林

- 動物
ホタル、ルリイトトンボなど
- 植物
桜、スイセン、ミズバショウ、カタクリ、フクジュソウなど
- 森林
小谷温泉・鎌池周辺のブナ林、北野のブナ林、山麓部の森林など



眺望点

- 前山、峠、集落地周辺を中心に118箇所の眺望点が寄せられた



設問：小谷村の改善したい景観

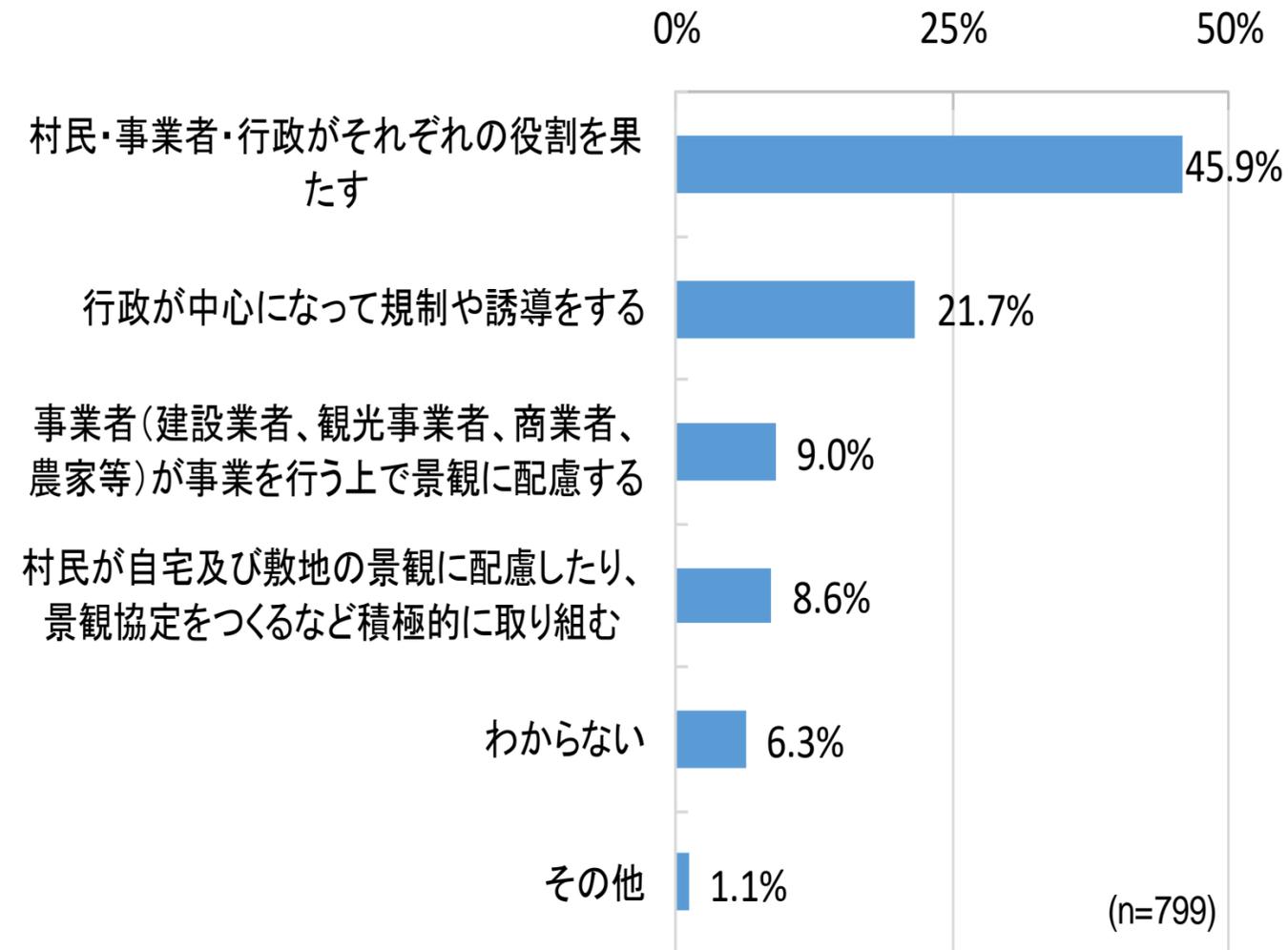
- 出現数が上位30位までを図化した結果は下記のとおり。



設問：景観づくりの進め方

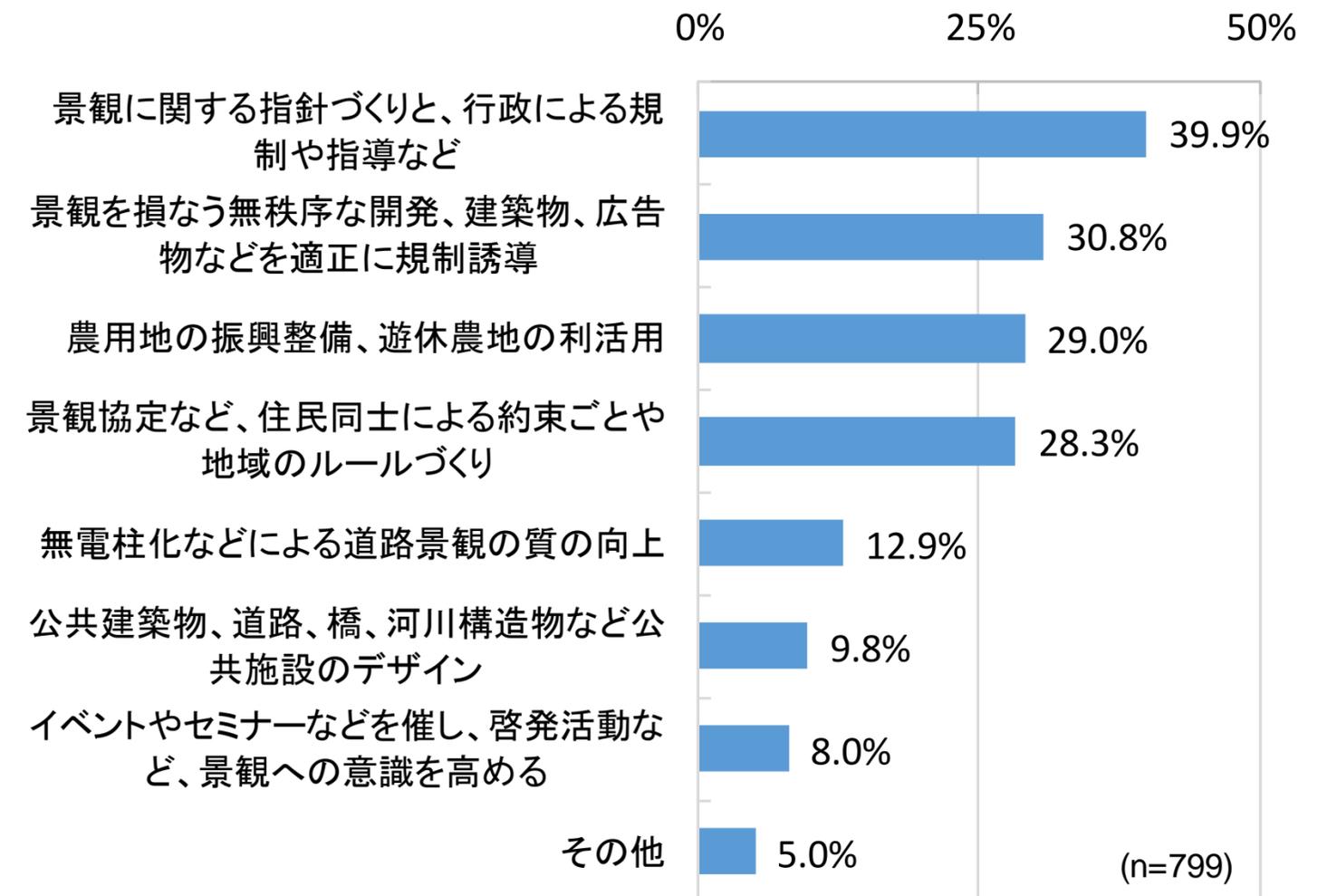
■ 誰が行うか？

- 全員が担うべきと考えている。



■ どのような取組が必要か？

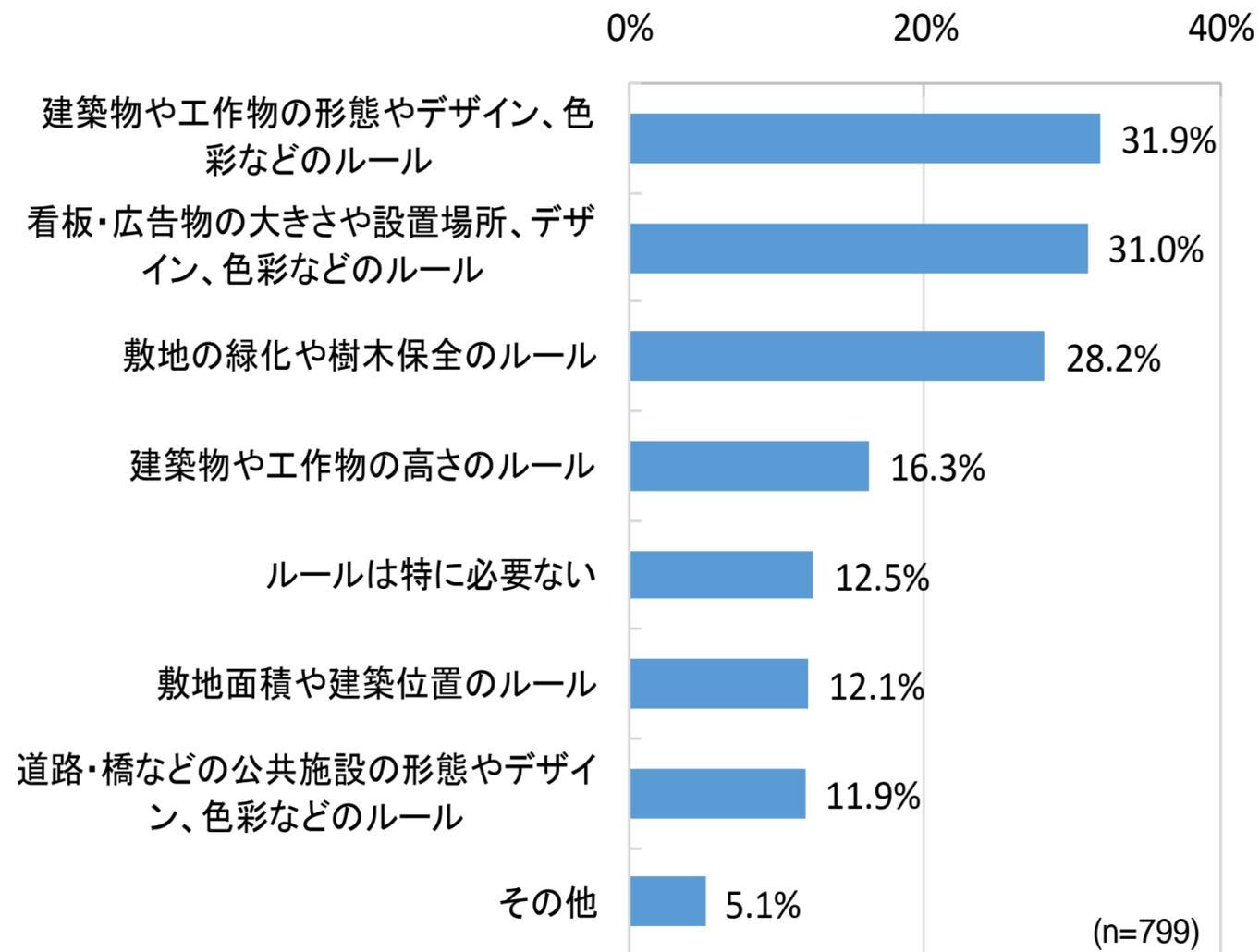
- 行政による規制や指導を求める意見が多かった。



設問：景観づくりについて

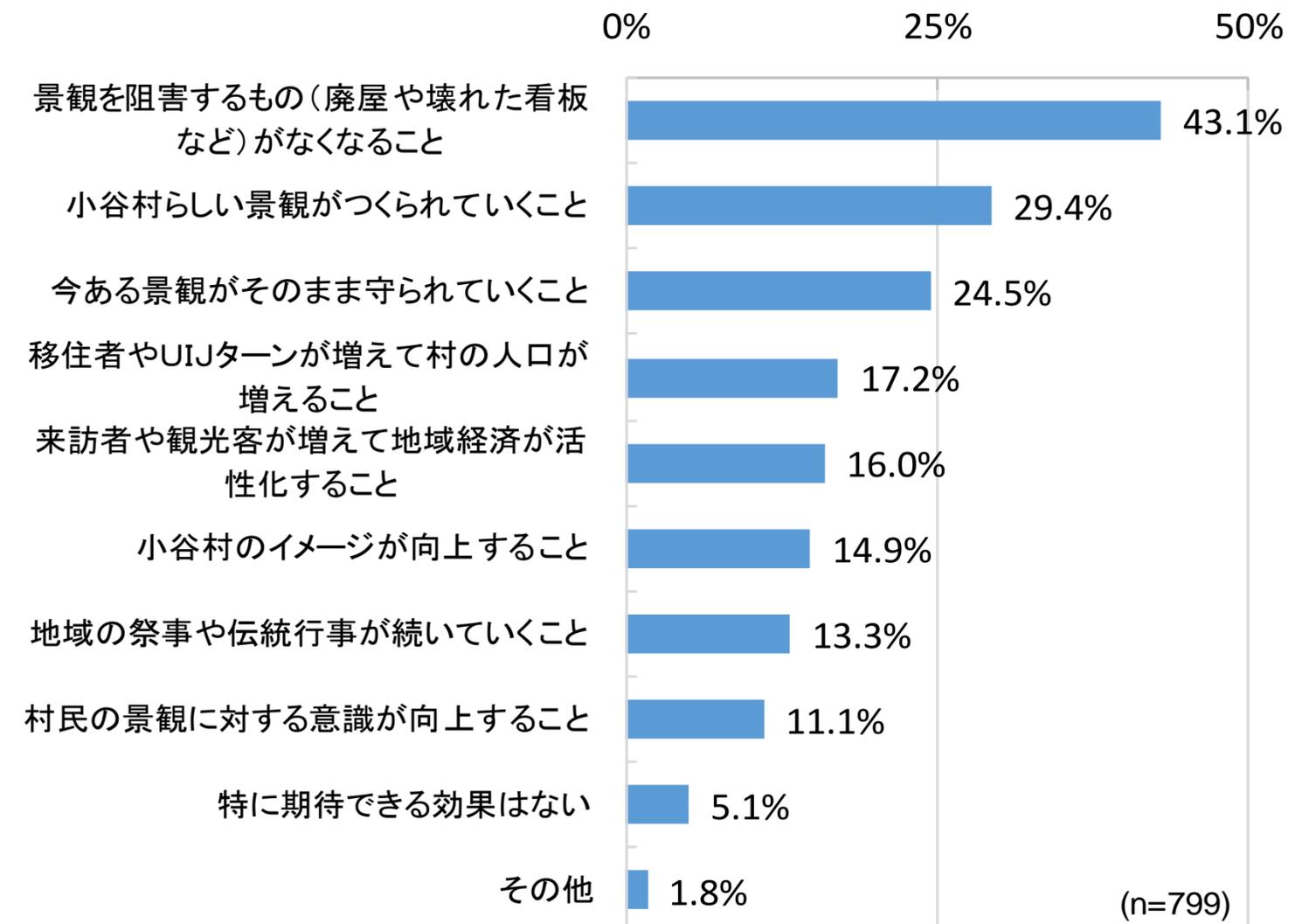
■ 必要なルールは何か？

- 建築物・工作物、看板・広告物が多かった。



■ どのような効果が期待されるか？

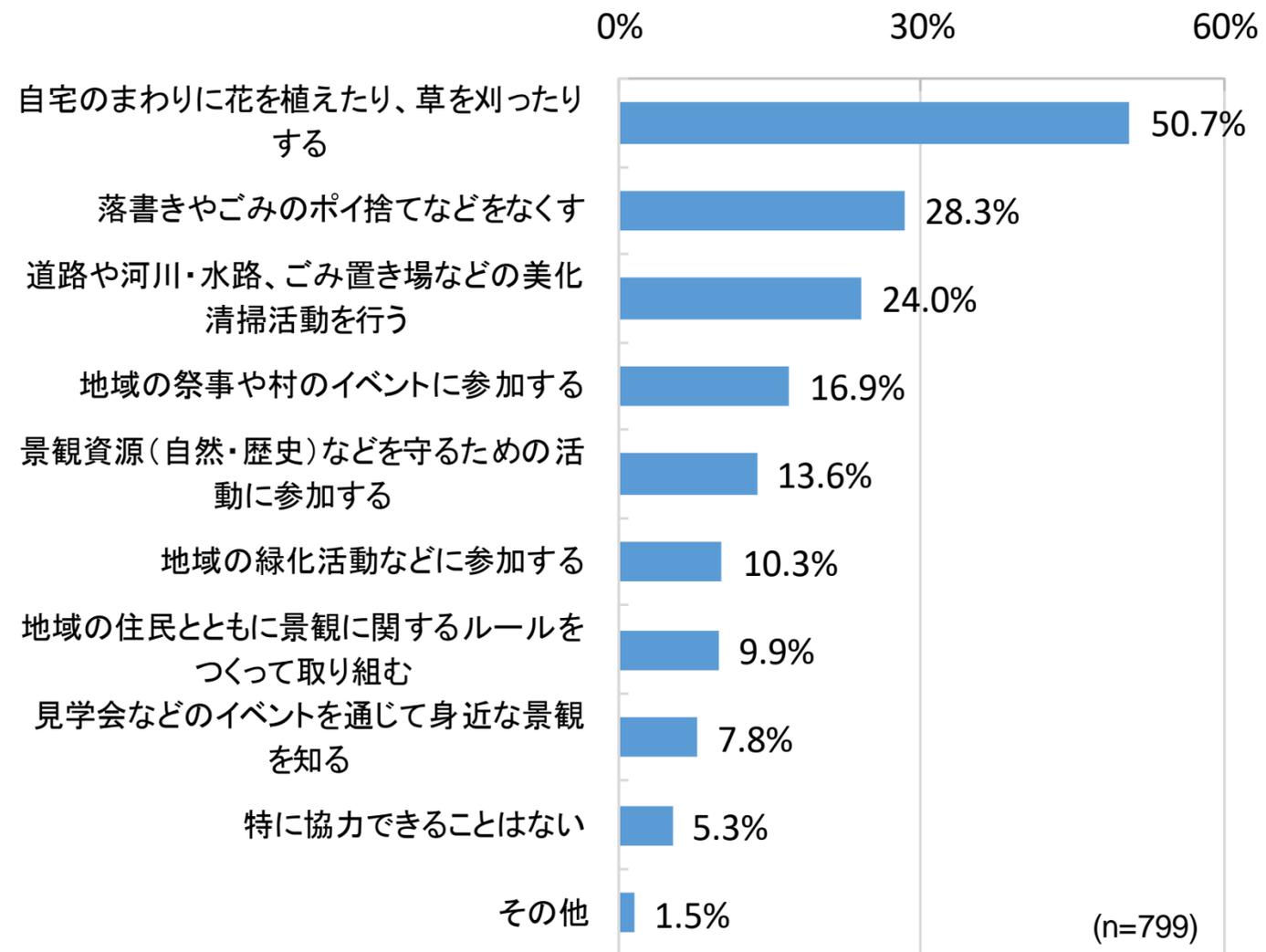
- 景観を阻害するものがなくなることへの期待が高かった。



設問：景観づくりについて

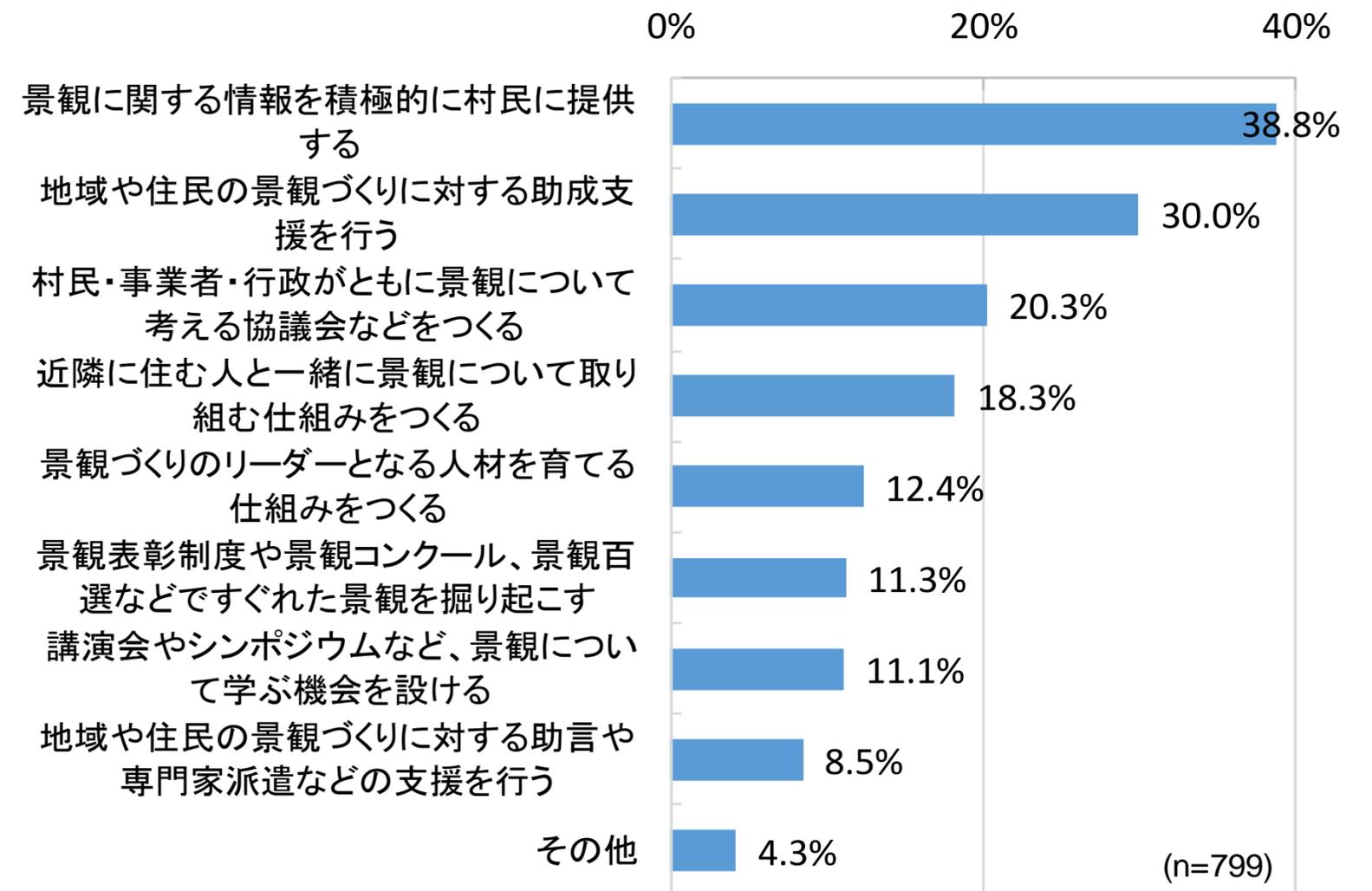
■ 協力できることは何か？

- 身近な取り組みに関心が多かった。



■ 行政に望む支援

- 情報発信や助成制度への期待が高かった。



設問：景観に関する自由意見

- 寄せられた意見について解析を行い、名詞のうち10回以上出現した単語を図化した結果は下記のとおり。



4. 意見交換

【本日のテーマ】

小谷村の景観の大切にしたいところ・変えたいところ

意見交換の進め方

ワークショップ形式で行います

- 自分の意見を付せんに書き出す
- 付せん 1 枚につき 1 つの意見を書く
- できるだけ多くの意見を書く
 - 他の参加者と内容が重複しても良い
- 意見の内容で使う付せんの色を変える
- 意見を書いた付せんは、地図上の近い場所へ貼り付ける

ピンク色

大切にしたい
景観

黄色

変えたい
景観

意見交換の進め方



地図に付せんを貼り付けたイメージ

意見交換の進め方

ワークショップのルール

- 思いついたら、すぐに付せんへ書き出す
- 他の参加者の話を良く聞く
 - 新たな発見があるかも知れません
- 他の参加者の発言を否定しない
- 自由に、柔軟な発想で！
- 振り返りの時間を大切にする